

新聞記事抜粋

熱海新聞 2017 年 1 月 12 日

仕舞い「熊野」など披露

国際融合
文化学会
冬季例会で成果発表



仕舞「熊野」を披露する出席者＝熱海第一ビル

世界の文化の調和、融合に関わる活動に取り組む「国際融合文化学会」（宗片邦義会長）は9日、熱海市田原本町の熱海第一ビルで2017年冬季例会を開いた。会員ら15人が出席し、日頃の活動の成果を発表した。

はじめに能の代表的な祝言曲「高砂」を全員で謡い、出席者が仕舞い「熊野」を披露した。続いて「フランス語詩の朗読」や「海外生け花修業」などをテーマに、7人が取り組んだ内容を発表。活動を通して感じたことや学んだことなどを紹介した。

宗片会長は「人間関係では優しき、国際関係では協調性が一番大切になる。今年は西とり）年なのでそれぞれの立場で羽はたいしてほしい」とあいさつした。

新年最初の例会は、宗片会長をはじめ、市内に住む会員が多いことから熱海で開催している。